

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和5年度病害虫発生予察防除情報第17号

ばれいしょ 疫病の防除対策について

ジャガイモ疫病初発時期予測システム（FLABS長崎モデル）【以下、FLABS-N】による各地点における疫病の初発時期および防除開始時期は、以下のとおり予測されます。本年は昨年より初発時期が早まることが予想されますので、各圃場における発生状況に注意するとともに、的確かつ効率的な防除に努めてください。

なお、今後の予測は当所のホームページで随時更新しますので参考にしてください。

記

1. FLABS-Nによる予測結果について

出芽50%想定日を基点とした各地点の予測初発時期は表1のとおりである。

表1 令和6年産春作ジャガイモ疫病の初発時期（予測日）

令和6年3月8日現在

		出芽50%想定日		
		2月15日	3月1日	3月15日
		上段：初発時期 下段：防除開始時期	上段：初発時期 下段：防除開始時期	上段：初発時期 下段：防除開始時期
諫早市	飯盛町（後田）	—	—	—
	飯盛町（山口）	—	—	—
西海市西海町		—	—	—
島原市有明町		—	—	—
雲仙市	愛野町	—	—	—
	小浜町	—	—	—
	南串山町	—	—	—
南島原市	加津佐町	—	—	—
	口之津町	—	—	—
	有家町	—	—	—
平戸市紐差町		—	—	—
五島市三井楽町		3/16～3/26 (3/11～3/13)	—	—
壱岐市石田町		—	—	—

注1) 予測時期はFLABS-Nに1kmメッシュ農業気象データを入力し算出した。

注2) 期日の上段は初発時期を示し、下段()内は効率的防除を行うための防除開始時期を示す。

注3) 表中の「-」は3/8時点までの予測では要件を満たさなかったことを示す。ただし、出芽の早い圃場ほど発病の危険が高いので注意する。

2. 防除対策について

- (1) 本病は発病すると急激に進展し、蔓延するので予防防除に重点をおく。
- (2) 1回目の薬剤散布は、ばれいしょの茎葉伸長期にあたるので表1()内の時期を目安にして、浸透移行性の高いA剤を散布する。その後B剤(A剤散布14日後)、C剤(B剤散布14日後)を散布すると効率的、効果的な防除ができる(図、表2)。
 なお、予測による1回目散布時期が遅くなり、散布間隔が短くなる場合は、2回目(B剤)の散布を省略し、C剤を散布する。
- (3) 薬剤散布は下葉にまで薬液が十分付着するよう、十分量を散布する。

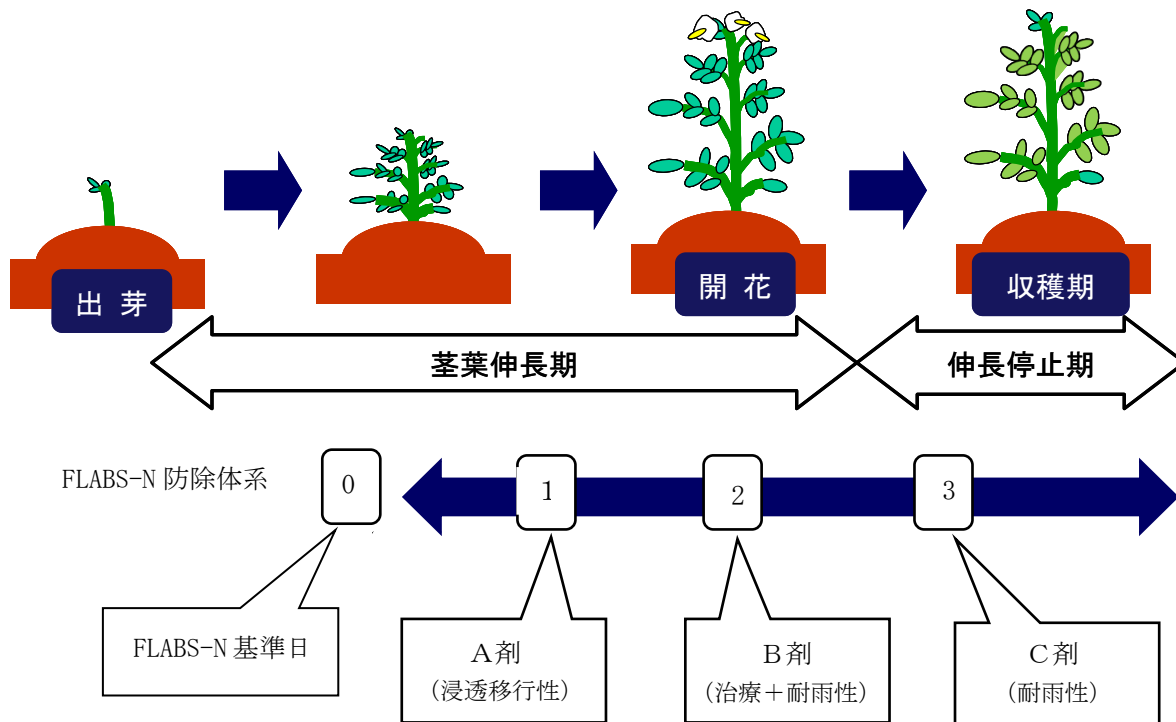


図 FLABS-Nを利用した防除体系の概略
 (長崎県農林技術開発センター成果情報 平成24年度第32号を一部改変)

表2 ばれいしょの生育ステージ別疫病の薬剤防除体系(令和5年長崎県病害虫防除基準より)

薬剤特性	A剤 (茎葉旺盛伸長期)	B剤 (茎葉伸長～開花期)	C剤 (茎葉伸長停止～収穫期)
治療・保護剤	フォリオゴールド リドミルゴールドMZ ゾーベックエンカンティアSE	プロポーズ顆粒水和剤 リライアブルフロアブル ホライズンドライフロアブル ブリガード水和剤 エキナイン顆粒水和剤 ザンプロDMフロアブル	
保護剤 (長期残効剤)			ライメイフロアブル レーバスフロアブル ランマンフロアブル フロンサイド水和剤
保護剤			ダコニール1000 マンゼブ水和剤 銅水和剤

※薬剤は令和6年3月現在の登録

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所） T E L : 0957-26-0027

